

生涯教育・生涯学習の実践が集う

中国・四国・九州地区

生涯教育 第31回 実践研究交流会

日時

平成24年 **5月19日(土)・20日(日)**
〔前夜祭 5月18日(金)〕

場所

福岡県立社会教育総合センター
(福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2)
TEL/092-947-3512 FAX/092-947-8029

日程・プログラム

前夜祭 5.18 FRI	19:00	20:00	1日目 5.19 SAT	9:30	10:15	10:45	12:30	13:00	13:30	16:15
	前夜祭	実行委員会		受付	開会式	実践発表①	昼食	受付	実践発表②	
移動	16:30	17:00	17:30	20:00	2日目 5.20 SUN	8:30	9:00	11:30	12:00	
	特別報告 報告者 三浦 清一郎 「人は2度死ぬ-自分史は「紙の墓標」」 フリータイム	懇親会 全体 県別	受付	特別企画 インタビュー・ダイアログ 1部「通学合宿等『生活体験プログラム』の 意義と方法」 2部「壊れた地域社会を修復し、『無縁社会』を 突破する方法はあるか？」		総括 閉会式	昼食			

主催 福岡県教育委員会 日本生涯教育学会九州支部
主管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会第31回大会実行委員会
福岡県立社会教育総合センター

第31回大会からは『生涯教育実践研究交流会』です

昭和57年に始まった本大会も今年で31年目を迎えます。

昨年は30回という大きな節目の年でした。大会コンセプトに「未来の必要」を掲げ、記念誌も発刊しました。そのキーワードは「学習から教育へ」でした。

社会構造の急激な変化はこれからもさらに進み、生涯学習社会は成熟していくはずですが、

生涯学習は人々の生活の場で大いに進められてきました。しかし、「まちの活性化」や「市民の豊かさや生きがいづくり」は進んだのでしょうか。生涯学習社会は「選択社会」です。選択社会は学習するかしないかは個人の自由です。当然選択する人とならない人が出てきます。このようにして「格差社会」が生まれました。生涯学習格差は健康格差、交流格差、情報格差に連鎖し、地域格差も助長しています。

その一方で社会教育本来の役割であった地域での「人づくり」や「地域活性化」への取組がおろそかになり、社会教育の施策や活動も見えにくくなってきています。私たちは生涯学習を追い求めるだけで良かったのでしょうか。

これからも生涯学習の推進は必要です。その中で「生涯教育・社会教育の視点の必要性」を強調したのが第30回大会であり、今後へつないだ宿題でありました。

今、国では「新しい公共」という名の下に、民間の力を行政のあらゆる分野に生かしていく施策が実践に移されています。地域では新しい「まちづくり」が始まっています。これらの施策には生涯教育、社会教育の視点が不可欠です。

第31回大会からは、大会名称も「生涯学習実践」を「生涯教育実践」に変えました。第30回大会のコンセプト「未来の必要」～学習から教育へ～を引き継ぎ、第31回大会が実り多き大会になることを期待しています。

代表世話人 森本 精造



前夜祭 19:00～



開会式 10:15～10:45

午前 実践発表① 10:45～12:30

第1会場

- 県民が「学び・つながり・動き出す」～くまもと県民カレッジの仕組み～
- 子育て・親育ち「タムタムスクール」の協働実践
～市民と行政による乳幼児期の家庭教育支援～
- 地域を変える・暮らしを変える
～非地元系NPOによる中山間地コミュニティ再生に向けた実践～

太田黒保宏 (熊本県)
卜蔵 久子 (鳥取県米子市)
齋藤かおり (福岡県八女市)

第2会場

- 宇宙のまちの「宇宙少年団」活動プログラムによる青少年育成
- Let's Study, Let's Enjoy in船上
～小中学生を対象とした勉強合宿&野外体験企画を大学生と自然の家が共催実施～
- 1週間通しの学社融合「人権」啓発プログラム
～「熊本市ふれあい文化センター」が企画する「かけはしウイーク」の集中と選択～

小西 嘉秋 (鹿児島県南種子町)
岩成 智彦 (鳥取県琴浦町)
石川 貴博 (熊本県熊本市)

第3会場

- 地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会5年の歩みと思想
- アウトリーチ型家庭教育・子育て支援相談事業
- 伝統的豆腐づくり「あたいぐわプロジェクト」が生み出すコミュニティの活力と学校支援活動の活性化

矢野 修 (大分県国東市)
松林 廣美 (長崎県長崎市)
南 信乃介 (沖縄県那覇市)

第4会場

- 家庭教育リーダーの養成と修了生グループ「さんかく」の活動支援
- 「たくミュージカルカンパニー」の創造機能
～手づくりミュージカルが生み出す新たなコミュニティ集団の成果と意義～
- 「生石子どもいきいき教室」が生み出した地域協働のシステム～地域は子育て応援隊～

三角 幸三 (熊本県熊本市)
川内丸信吾 (佐賀県多久市)
角田 敏郎 (愛媛県松山市)

わたしのまちのポスター展

あなたのまちの「村おこし」や「まちづくり」また「人づくり」のイベントのポスター等で、あなたのまちの故郷自慢を広く全国にアピールしてみませんか？

- 参加資格 誰でも出品できます。
- 出品数 1イベント1点
- 提出方法 大会当日受付にお申し出下さい。
- 留意事項 ポスター・チラシに限ります。展示品は返却できませんので予めご了承下さい。

午後 実践発表② 13:30~16:15

第1会場

- 「おのみち100km徒歩の旅」～意義と役割とサポートシステムの再検証～
- 第1回「協育」見本市の思想と道筋
- 過疎地における子育て支援システムの崩壊と再組織・再構築の過程
- 朗読と音楽で物語を紡ぐ「わくわくお話し隊」の軌跡～「輝く大人であり続けよう」をモットーに～

柿本 和彦 (広島県尾道市)
岩永 奈々
安達美和子 (大分県別府市)
柳澤 裕実 (山口県周防大島町)
小川 真里 (島根県雲南市)

第2会場

- アウトリーチ型「放課後の達人」広域プロジェクト
～放課後子ども教室の充実のためのアドバイザー派遣事業～
- 地域教育力の向上を目指し、学校と地域を繋ぐPTAの工夫と挑戦
- 「無縁社会」を「ご近所福祉」が突破する～「いつでも、だれでも集える場」を提供するiikotoメイト～
- ふるさとの再生を目指す住民自治・活性化機構の組織と戦略
～出雲街道の今昔に学び、二部谷地域の活力を生み出す～

緒方 尚哉 (熊本県)
山本 美咲 (大分県別府市)
藤本 詔子 (山口県宇部市)
田邊 公教 (鳥取県伯耆町)

第3会場

- 木ヶ津千灯籠春まつり～住民による住民のための地域活性化事業の構想と戦略～
- 「家庭」と「学校」、「親」と「子」、「親」と「親」、「行政」と「支援チーム」をつなぐファミリーサポーターズ「和(なごみ)」
- 親の学びを核とした乳幼児から自立までの循環型子育て支援プログラムの意義と方法
- 加治木(笑)劇場「華の会」～スクリーン(映像)紙芝居に夢を託して～

村 節雄 (長崎県平戸市)
徳永 清美 (福岡県大木町)
赤迫 康代 (岡山県備前市)
馬場ひとみ (鹿児島県始良市)

第4会場

- 嘉川子育て支援連絡組織「みらい」が目指す「子育てにやさしいまちづくり」
- 「三隅学」の創造と「地域力」の醸成～「三隅」の歴史を学び現代につなぐ～
- 学校と地域をつなぐ企業発の総合的食育学習
～「大豆100粒運動 大豆できずく食育の町佐賀」の継承と展開～
- ゆにばの杜塾～大学が育む「中継ぎ世代」を中心とした社会参画と地域活性化～

山村 正子 (山口県山口市)
野尻かおり (島根県浜田市)
池田 龍二 (佐賀県佐賀市)
保坂恵美子 (福岡県久留米市)

特別報告 16:30~17:00

「人は2度死ぬー自分史は『紙の墓標』」 報告者 三浦 清一郎

懇親会 17:30~20:00

5/20(日)

特別企画 インタビュー・ダイアログ 9:00~11:30

インタビュー・ダイアログ

1部 「通学合宿等『生活体験プログラム』の意義と方法」

登壇者 朝日 文隆 (福岡県みやま市立江浦小学校校長)
鎌田 清一 (福岡県遠賀町教育委員会生涯学習課社会教育係長)
相戸 晴子 (NPO法人子育て市民活動サポートWill代表理事)

コーディネーター 正平 辰男 (純真短期大学特任教授)

上記登壇者等の役職名は、平成24年3月現在のものです。

会場参加型 インタビュー・ダイアログ

2部 「壊れた地域社会を修復し、『無縁社会』を突破する方法はあるか？」

基調インタビュー

登壇者 秋山 千潮 (佐賀県佐賀市立勸興公民館館長)
森下 碩哉 (福岡県糸島市立南風公民館館長)

コーディネーター 三浦 清一郎 (生涯学習通信「風の便り」編集長)

上記登壇者等の役職名は、平成24年3月現在のものです。

総括閉会式 11:30~12:00

「おらがまちの名物自慢」

あなたのまちの名物は何ですか？
地酒・焼酎・つけもの・海産物……。
毎回、参加者がお国自慢の品々を持ち寄り、その数なんと、約100個。

「競り市」での競売もよし、「懇親会・2次会」での酒肴でもよし。

ご持参くださる方は、大会当日、受付にて、「所属・氏名」「物産品の品名」「セールスポイント」をご記入の上、ご提出下さい。



中国・四国・九州地区 生涯教育実践研究交流会第31回大会 【参加申込書】

※提出期限：平成24年5月11日(金)

ふりがな				性別	男・女
氏名				年齢	歳
所屬					
職名					
連絡先	自宅・職場	電話番号	()		
住所	〒 *今後、継続して案内を希望の方は自宅の住所をお書き下さい。(名簿には掲載しません)				

大会の出欠等

※希望する事項に○を付けてください。

	前日 5月18日(金)	1日目 5月19日(土)	2日目 5月20日(日)
大会参加(参加費【1,500円】 但し学生【1,000円】)		出席・欠席	出席・欠席
朝食希望【380円】		有・無	有・無
昼食希望【590円】		有・無	有・無
前夜祭 & 第31回大会パーティ	出席・欠席 前夜祭【2,000円】	出席・欠席 パーティ【3,500円】 但し学生【2,000円】	
宿泊希望【120円】(1泊2泊ともに)	有・無	有・無	

*個人情報は本大会に関すること以外の目的では使用いたしません。
*複数名で申込される方は、こちらをコピーしてお使い下さい。

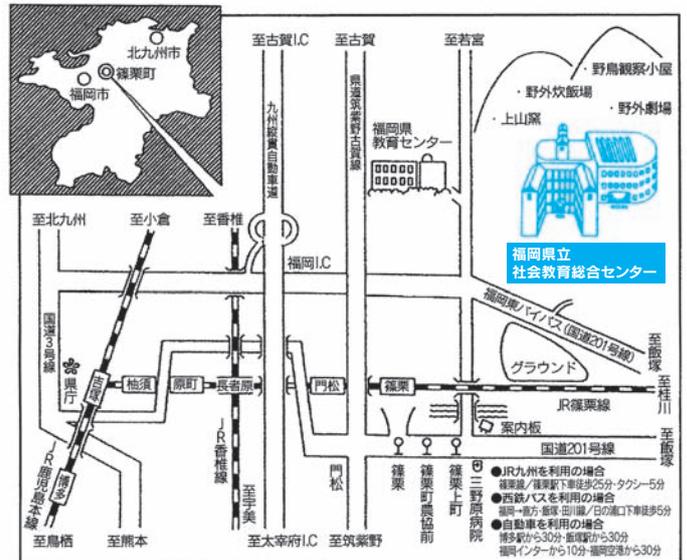
■留意事項

- ①大会参加費は一律(1日、2日参加とも)1,500円です。
- ②タオル・歯ブラシ等、身の回りの品はご持参ください。石けん・シャンプーは用意しております。
- ③ご希望の方は、18日(金)から同センターに宿泊できます。
- ④18日(金)から宿泊される方々を中心に前夜祭を実施します。(会費2,000円)

※必要事項を記入の上、FAX(092-947-8029)でお申し込みください。

申込は、「ふくおか社会教育ネットワーク」
(<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/>)からもできます。

■交通案内



問い合わせ先



福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室
〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町金出3350-2
TEL 092-947-3512 FAX 092-947-8029